科目名	社会教育演習	
担当者	岩橋 恵子 / IWAHASHI, Keiko	
科目情報	人間文化＜関連＞ / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
	社会教育主事資格科目／選択必修	
科目概要	授業内容	持続可能な社会づくりに向けた教育・社会教育のあり方およびその役割を考察する。そのための授業展開としては、指定文献・資料の輪読および現地事例調査を基にした報告・議論を中心に行う。調査対象は、受講生の関心に応じて決定する。
	到達目標	持続可能な社会づくりとそのための教育（ESD）の意味と今日的意義を理解する。 地域の社会教育実践を持続可能な社会づくりの視点から理解し、自らの関わり方を考えることができる。
授業計画	（1）持続可能な社会と持続可能な開発のための教育（ESD） （2）ESDにみる新しい教育論 （3）ESDと生涯学習 （4）ESDと学校教育 （5）ESDと人材育成 （6）環境教育とESD （7）地域再生とESD （8）観光とESD （9）企業とESD （10）海外におけるESD （11）ESDの10年の調査研究① （12）ESDの10年の調査研究② （13）ESD実践の現地調査研修① （14）ESD実践の現地調査研修② （15）まとめ－ESDの課題－　　＊授業展開は入れ替わることがあります。	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・取り上げたテーマ・内容について、授業中に紹介する資料・文献・論文などで理解を深めること。
使用教材・参考文献	【教】『持続可能な開発のための教育の理論と実践』ミネルヴァ書　2012年。 その他、プリントを適宜配布する。 【参】『持続可能な開発のための教育（ESD）をつくる－地域でひらく未来の教育－』ミネルヴァ書房　2011年。持続可能な開発のための教育10年推進会議編『希望への学びあい』 2009年　その他、授業中に紹介する。	
成績評価方法と基準	〈基準〉持続可能な社会づくりと教育・社会教育の関係の基本的理解をふまえて、これからの社会教育のあり方への自らの見解を表現できる。 〈方法〉文献・資料を考察したレポート報告30%、調査報告レポート30% 終了レポート　40%	
備考	現地調査の交通費等は自己負担とする。	